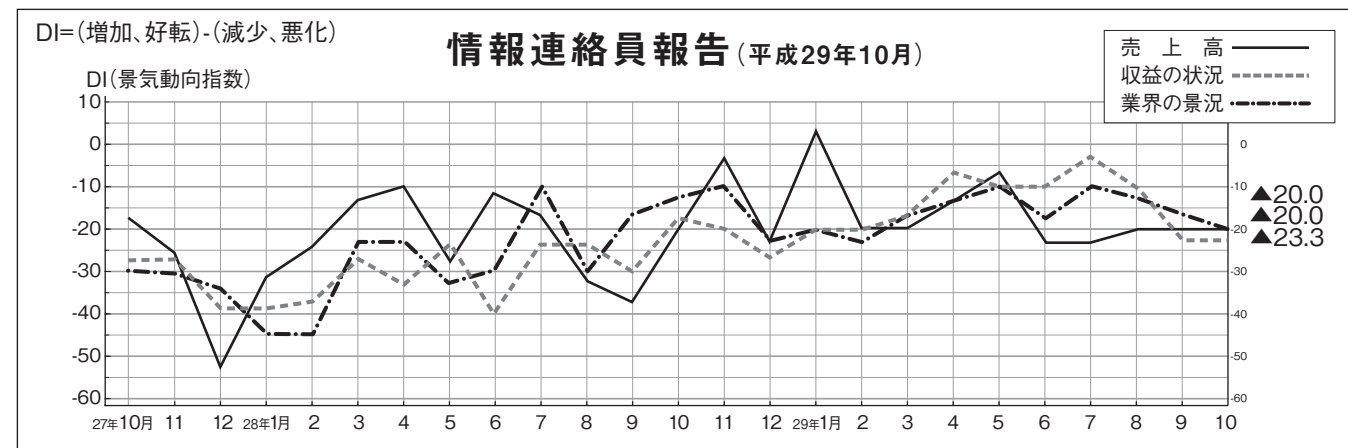


# 情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向

## 2017年10月 (前年同月比)



業界の状況

☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

**食品団地**  
10月度商況は前年並み。県外向け販売価格は運賃値上がり分を価格転換できた企業が多かった。製造用業務ガス価格が急ピッチの値上がりとなっている。

**生コンクリート製造**  
出荷数量は前年同月比82.4%で大幅落ち込み、出荷量の地域差が大きい。

**酒類製造**  
出荷総数では前年同程度であるが、販売の商品構成、販売先等は変化してきている。

**コンクリート製品**  
出荷数量は前年同月比94%、市況は減少状況が続いている。

**水産食料品製造**  
鯉節業界では相変わらず原料高のままに転嫁できない状況で推移。売上も全体的に低下している。みりん干し業界も同様。シイラ、サバ、サンマなど主要品の漁模様が非常に心配。特にサンマは去年の60%高と今年は売れていない状況。

**機械団地**  
団地内は一部業種で落ち込みが見られるほか、横ばいから下降ぎみの業況で推移している。台風21号の暴風により、複数事業所で工場の扉や屋根の破損等の被害があった。

**木製品素材生産**  
10月は量的にはスギ、ヒノキ共に10%程度の減少。价格的には両樹種共15%程度の上昇があった。

**刃物製造**  
売上は昨年より若干上がったが、受注に対する供給が困難であることに変わりはない。今月も高齢による廃業者が出て、来月からの供給がさらに困難になると思われる。

**製材**  
原木、製品の活発な動きは少なく現状維持の状態。

**船舶製造**  
受注残等の消化で操業度は高水準。

**製紙**  
稼働に大きな変化はないが、輸入原料であるパルプ価格の高騰・円安のダブルパンチを受け資材類の高止まり、製品価格転嫁が出来ない状況が続くか。多忙な割には収益に反映しない年末年始となりそう。

**珊瑚装飾品製造**  
10月度製品会取引高は前年度同月比190%であった。これは一過性のもので、小売りの売買は相変わらず低迷が続いている。

**印刷**  
県内需要の官公需は低調だが一般はまずまず、選挙特需もあり徐々に好調傾向。県外需要もまずまずの感。数ヶ月ぶりに前年を上回った。

**卸団地**  
県内の外食産業は全体的に前年同月を下回っており、二週連続の週末台風と選挙の影響が大きいと思われる。また採用難が一層厳しくなっている。景気回復が感じられない。

**青果卸売**  
10月度市場入荷状況は前年同月比で野菜は数量9%増に対して平均キロ単価70%弱と大幅に下落、結果販売高も多くの組合員で大幅ダウン。果実の数量はほぼ前年並みで平均キロ単価90%強と野菜に比べるとほぼ前年並みに近い。

**商店街(四万十市)**  
売上等は前年度とほぼ同水準。2週連続の台風接近で売上に多少影響があった模様。また、衆議院選挙結果が今後様々なところに影響が出るのではないかとと思われる。

**生鮮魚介卸売**  
台風の影響もあり小物等全般的に入荷が少なかった。先月同様組合員の減少により買高も落ち込んでいる。

**旅館・ホテル**  
平日は国体の一部競技や他のスポーツ団体、種々全国大会等があり安定していた。しかし2週連続週末の台風影響で、職場慰安旅行やグループ旅行者の予約キャンセルが相次いだ。また選挙日でもあり宴会利用にも大きな影響があった。

**各種小売(土佐市)**  
特に変化は見られず、良くも悪くも無い。景気回復の実感がわかない商店ばかりある。

**飲食店**  
少しだけ景気動いている感あり。当業界の設備投資についても日本政策金融公庫の説明では上昇気味とのこと。

**ガソリンスタンド**  
原油価格はFIA(米エネルギー省)統計の原油在庫減等で小幅上昇し、石油元売り仕切は2週連続で上昇した。全国のガソリン小売価格は上昇したが、高知県の石油製品市況の変動は無かった。

**旅行業**  
組合クーポンの売上は前年同月対比72%国体の影響もあるのか、旅行売上減少に歯止めがきかない。バスの確保が出来ず募集旅行が実施できないとの声も聞かれる。

**電気機械器具小売**  
10月度は全体で前年比102.3%で、4Kテレビは同102.6%、エアコンも同106.3%と好調。

**一般土木建築工事**  
平成29年10月分の公共用土木生コン出荷量は前月比113.4%、前年同月比59.1%の実績。平成29年4月～10月累計は前年比86.4%。防波堤工事や東部自動車道など大型工事や耐震・防災関連工事は継続中。

**中古自動車小売**  
自動車業界、新車販売の車輻点検検査員無資格者による不祥事が発覚し、新車販売に大きく影響を受けている。中古自動車においても少なからず影響があり今後が心配。

**電気工事**  
組合員の施工する電力引込線関係工事量は前年同月比100%、今後の増加を期待したい。

**商店街(安芸市)**  
当月において特段の変化なし。

**一般貨物自動車運送**  
物量は例年より減少しており経営環境は厳しくなっている。燃料価格も上昇しており、繁忙期に頭の痛い状況となっている。

**商店街(高知市)**  
中央公園地下駐車場利用状況は前年比売上75.2%、利用台数109.8%。台風21・22号が週末に連続して襲来し、多くの店舗が閉店を余儀なくされるなど売上げ面で大きな打撃となった。また、強風によりアーケードの一部が破損するなどの被害が生じた。

**タクシー**  
実働1日1車当りの前年同月比営業収入:98.2%、輸送回数:97.3%。当月の実働率は69.8%。

あなたの挑戦のそばに  
三井住友海上はいつもいます。

安心のゴールキーパー

MS&AD  
三井住友海上  
www.ms-ins.com

MS&AD インシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Stripes logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.